

特集 親が知っておきたい 就職のこと



売り手市場というけれど実際のところは？ 就活ってどんなスケジュールで進むの？ 公務員を目指すには？ 親として知っておきたい就職活動のいろは。今回の特集では、7月1日（土）に神田キャンパスで開催した育友会主催就職懇談会の内容をお伝えします。

※掲載記事は講演内容を一部抜粋するなど、主旨を変えない範囲で手を加えています。

育友会 HP で
アーカイブ配
信しています



1 講演

最新の就活動向と 専修大学の支援体制

就活のスケジュールや大学のサポートについて、専修大学の担当部署の職員が解説します。

インターンシップの変更点

まずインターンシップが今後、変更される点についてお話しします。そもそもインターンシップとは、キャリア形成の支援の一つとして学生が企業で就業体験を行うものです。

これが2025年卒以降は、4つのタイプに分けて定義されることになりました（図1）。これまでは1日だけのものや、就業体験とほど遠いものまでインターンシップと言っていましたので、これを



専修大学キャリアセンター事務部長
閑念文博

整理したことになります。

タイプ1が「オープン・カンパニー」です。ワンデイ仕事体験、企業が行う説明会、就職情報会社が行う説明会、大学が行う企業説明会、そういったものは全部ここに入ります。

タイプ2が「キャリア教育」。これは授業におけるインターンシップ科目や、キャリア形成支援課で行うキャリア支援プログラムが該当します。

タイプ3が「汎用的能力・専門活用型インターンシップ」。ここがいわゆるインターンシップで、

就職活動に直結するものになります。職場での実務体験、就業体験が必須です。しかも5日以上、なおかつ日程の半分以上は就業体験をして、実施する時期は3年生以上になります。企業はこれを採用選考に使うことができるようになります。このマーク(図中➡)がついているところは、すべての条件を満たしたものになります。

タイプ4は「高度専門型インターンシップ」。これは大学院生、特に理系の大学院生を対象にした長期間、2カ月以上のものを想定し、国と一部の大学で試行中です。

インターンシップと呼べるのはタイプ3、4のみです。学生にとって大きな変更かという点、そうでもなくて、どのタイプであっても業界・企業研究、社会理解、自己理解につながる機会であることには変わらないので、大学での活動を優先しつつも積極的に参加していただきたいと思います。

インターンシップを実施した企業は、取得した学生の情報を採用活動開始以降に限り活用できる



図1

2026年3月卒【現2年次生】よりルール変更が予定されています

「専門性の高い人材」について採用活動開始を政府の定める6月1日より前倒しできるようルールを改定する」と政府から発表されました。

4年生へ進級する春に2週間以上のインターンシップ(就業体験)【タイプ3: 専門活用型インターンシップ】を実施し、その後の採用選考を経れば、3~4月にも内々定を出せるようになる見込み

図2

2. 2023年3月卒 就職状況

就職希望者就職率 97.3% (+0.9pt)

卒業者就職率 84.8% (+2.2pt)

就職希望率 87.2% (+1.5pt)

卒業者数 3,688名 / 就職者数 3,112名 / 就職希望者数3,197名

図3

のが現在のルールです。ただ、これも実際のところは守られていなくて、早期選考に利用されているという現状があります。そういった中、現2年生からルール変更が予定されています(図2)。

専大生の就職状況

就職の状況を話していきたいと思います。これがこの春卒業した学生の結果です(図3)。売り手市場と言われる中で、皆さん一定の結果を出して卒業したと考えています。

参加者から「学部別の就職先を教えてください」という要望もありましたので、ほんの一部を紹介します(図4)。誤解のないようにお伝えしますと、この企業はこの学部でなければ受からないということはありません。

次に公務員の就職先です(図5)。国家公務員全体で72名、地方公務員全体で232名、合計で304名。前年は301名だったので人数はほぼ同じです。公務員希望者も多く、結果も出ています。

民間と公務員の就活スケジュール

こちらが就職活動の流れになります(図6)。国のルールでは、3月1日から企業は広報活動、6月1日から採用選考活動が開始になります。でも実際には3年次の夏休みに入れば、一斉にいろんな企業がインターンシップ、もしくはオープン・カ

2023年3月卒業生の主な就職先(民間・学部別)

経済	法	経営	商	文	人間科	ネットワーク情報
KDDI	近畿日本フーリスト コーポレートビジネス	キングジム	京セラ	エイベックス	日本生命保険	LINE
野村證券	ソフトバンク	日本製鉄	ディー・エヌ・エー	AIRDO	ニトリ	オルビス
JR東日本	日本出版販売	東洋水産	アウセンチュア	山崎製パン	ぎょうせい	楽天グループ
東京電力HD	住友電気工業	日本中央競馬会	EY新日本有限責任 監査法人	サイボウズ	京王百貨店	富士通エフサス
全日本空輸(ANA)	京日	イトーキ	沖電気工業	N T T西日本	日本食研HD	東宝
キーエンス	ミネベアミツミ	東洋水産	森永製菓	読売新聞東京本社	タカラスタンダード	ヤフー
日本政策金融公庫	キングレコード	ADKホールディングス	東洋製糖グループ HD	マイナビ	伊藤忠食品	オムロン
SUBARU	NTN	リクルート	日本たばこ産業	日本放送協会	小田倉30ディベロップメント	日本特殊塗料
カブコム	住友化学	大和ハウス工業	パイロット コーポレーション	ロッテ	崎陽軒	大塚商会
コボタ	清水建設	大塚商会	愛媛銀行	帝國ホテル	富山第一銀行	トンボ

図4

2023年3月卒業生の主な就職先(公務員関係)

国家公務員	全学科			地方公務員	全学科		
	全体	男子	女子		全体	男子	女子
国家公務員総合職	0	0	0	都道府県(上級)	21	15	6
国家公務員一般職	15	8	7	都道府県(中級)	0	0	0
国税専門官	47	34	13	市・区(上級)	129	87	42
労働基準監督官	2	0	2	町 村 役 場	5	4	1
法務省専門職員	2	1	1	警察事務(上級)	13	6	7
裁判所職員一般職	1	1	0	警 察 官	41	38	3
自衛隊幹部候補生	2	2	0	消 防 官	17	17	0
その他自衛官	3	3	0	そ の 他	6	5	1
その他	0	0	0	国家公務員計	72	49	23
				地方公務員計	232	172	60

図5

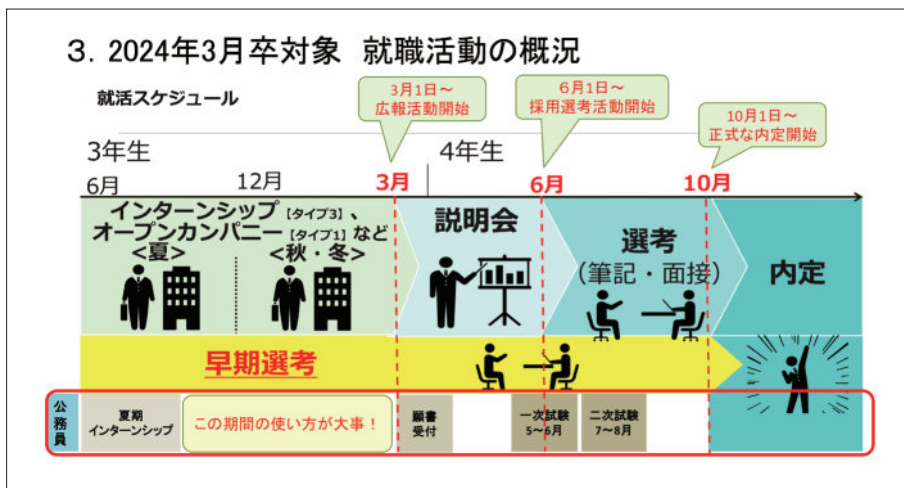


図6

ンパニーという形で学生を企業に呼んでいます。そしてその後、企業は参加した方に説明会の案内をし、早期選考をしていくという形です。

リクナビの調査によると、3割ぐらいの学生が、内定を持って3月1日を迎えています。もちろん3月1日から通常の選考もありますので、インターンシップやオープン・カンパニーに参加しなければ内定を得られないというものではありませんが、参加すればチャンスがあるかもしれないとご理解いただければと思います。

そして、図の下段が公務員の一般的なスケジュールです。公務員も夏にいろんな自治体でインターンシップを行っています。そして3月から願書の受付が始まる自治体が多いです。1次試験が5、6月、2次試験の面接が7、8月という流れになっています。

民間企業と公務員との併願は可能か、という質問を毎年いただくのですが、これだけ早期選考が進むと、3年次の夏から3月までの期間をうまく使えば、昔より併願しやすいと思っています。先ほどお話しした通り、3月1日の段階で3割の学生が内定を持っている状態なので、3月までに内定を1ついただいで、その後、公務員試験に集中するというやり方もできる環境です。併願を考えている方は、夏に公務員だけでなく、民間企業のインターンシップにも参加して、公務員と民間企業の違いも見てほしいと思います。

採用活動はさらに早期化

5月末の内定率はリクナビの調査で79.8%で、昨年度と比べて6.5ポイントアップです。早期化

がなぜ起こるのか考えると、やはりインターンシップの参加から選考という流れに乗った方も多く思っています。

就職内定率の数字は、サイトに登録している学生にアンケートを送って、その回答した学生の結果です。この時期に余裕がある人のみがアンケートに回答したと考えると、10～

20%は上振れしていると思います。

内定があっても、就活が終わったという方は本学では3割弱です。この時期は、内定を持ちつつも就職活動している人がたくさんいます。

超売り手市場であるということは、企業側からすると大学生を採るのに苦戦している状態です。有効求人倍率は、去年とほぼ同じで1.71倍。そして深刻なのは、この春、採用数が充足していない企業が約3割あるということです。実は去年も同じ結果が出ていました。キャリアスのリサーチ結果ですが、採用に危機感を持つ企業が全体の約9割。ということは、活動を継続している方にとって、チャンスがあることは間違いありません。4年生で活動中の方がいらっしゃったら、ぜひキャリア形成支援課に相談に来ていただければと思います。

学生の状況もお話しします(図7)。実はエントリーシートを提出する数も筆記試験を受ける数も去年より減っています。学生は絞り込んで受ける傾向があります。ただ、面接の受験者数は変わっていない。ということは、エントリーシートや筆記試験のハードルが下がってきているという捉え方もできると思います。

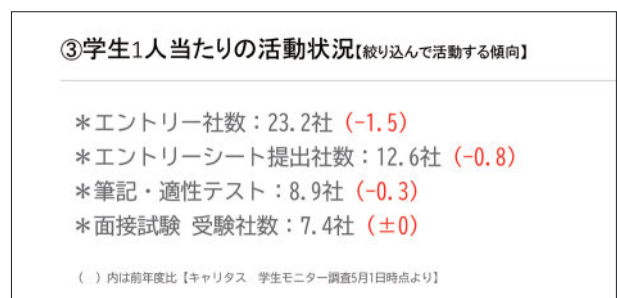


図7

専修大学の就職支援体制

本学の支援体制を簡単に説明します。

i PBLプログラム

キャリア形成支援課では課題解決型学習としてPBLプログラム（問題解決型チャレンジプログラム、ベンチャービジネスプログラム、専修リーダーシップ開発プログラム）を実施しています。単位にはなりません、受講者は一生懸命に取り組んでいます。ご興味のある方はQRコードから、ホームページをご参照ください（図8）。

あと、キャリア探索型プログラムといって、キャリア形成支援課を経由する企業団体のプログラムがあります。去年は110の企業・団体からお話をいただき、180名の学生が参加しました。一番の特徴は、キャリア形成支援課できちんと事前・事後指導を行うという点です。

ii キャリア・就職相談

2つ目は、キャリア・就職相談です。とにかく困ったら相談に来てください、と学生には言っています。対面の場合は事前予約の必要がありません。時間制限も特に設けていません。何回でも利用できます。ただし、ウェブ相談は予約制です。1年間で1万2,000件くらいの相談を受けています。

iii キャリア形成支援プログラム

キャリア形成支援プログラムもたくさん実施しています。企業の採用担当者が模擬面接を行う「面接対策攻略セミナー」、卒業生が学生を全面的に

i. PBL(Project Based Learning: 課題解決型学習)・インターンシップ・就業体験

HP (PBLプログラム)

* 専修大学3大PBLプログラム

問題解決型チャレンジプログラム【タイプ2】
ベンチャービジネスプログラム
専修リーダーシップ開発プログラム

* キャリア探索型プログラム【タイプ2または3】旧:「大学提携型インターンシップ」

キャリア形成支援課を経由する就業体験プログラムは110の企業・団体があり、180名が参加
※キャリア形成支援課による事前・事後指導あり




図8

iii. キャリア形成支援プログラム

詳細はHPをご確認ください

- ガイダンス・企業研究セミナー等
- 220回以上実施（2022年度実績）

4年次の内定獲得まで、徹底してサポートします！




図9

バックアップしてくれる「学内OB・OG相談会」、専大生を採用したい企業が集まる「企業研究セミナー・学内企業説明会」など様々あります。これも詳しくはQRコードで見てください（図9）。

iv 地方就職支援

4つ目は地方就職支援です。現在、36の自治体と就職支援協定を締結して、いろんな情報を発信しています。6月24日には、この就職支援協定を締結させていただいた自治体の協力で「働く・暮らす場所から考えるキャリア」をテーマにセミナーを開催し、約150人の学生が参加されました。（7月31日に愛媛県と就職支援協定を締結しました。）

v S-net (就職支援システム)

最後に、専修大学の学生だけが使えるS-net（就職支援システム）を紹介します（図10）。求人検索は6月21日現在で、専修大学の学生が応募できる企業が14,300社くらいあります。また、キャリア形成支援課にお越しいただいた企業の採用担当者からの「来校求人情報」も見ることができます。そのほか、過去の支援プログラムのアーカイブなど、いろんな情報を載せています。ウェブ相談や就職支援プログラムの情報もここで見られます。

それと、7月からビズリーチ・キャンパスと提携をし、オンライン上でOB・OG訪問ができるようになりました。

4年生は諦めずに！

最後に就職支援というところで言うと、これから先の4年生の支援が私たちの本当の支援だと思っています。まだ就職活動されている学生には、キャリア形成支援課を活用して、とご父母からお伝えください。どうもありがとうございました。

※この後、会場からの質疑応答へと進みます。興味のある方は育友会HPのアーカイブ配信をご視聴ください。

v. S-net (就職支援システム)



「求人情報」
約14,300社
※6月21日現在（2024.3年対象）

「お知らせ」
支援プログラムのアーカイブ動画などが掲載されています

「来校求人情報」
採用担当者が来校した際の情報

その他
WEB相談予約
支援プログラム申込
企業情報（約22万件）
卒業生の就職活動記録
etc...

図10

専修大学卒業生が語る！ 採用担当者としての視点



株式会社キングジム 上席執行役員
管理本部副本部長兼人事部長 **小島祐介**

1993年専修大学商学部卒業後、某自動車メーカーグループ会社に入社。
1998年株式会社キングジムに転職し、2011年より人事総務部に所属。

エントリーシートや面接のポイントなど、採用する側からの情報をお伝えします。親はどう支援したらいいかもアドバイスします。

アフターコロナと採用活動

新型コロナの感染拡大に伴い、企業は面接のオンライン化を進めてまいりました。しかしながら、新型コロナの5類移行により、面接は対面に戻りつつあります。こうしたことによる学生側及び企業側のメリット、デメリットをご紹介します（図1）。

まずは、対面による学生側のメリットです。1つ目は、企業の社風を肌で感じられ、入社後のイメージを具体的に持つことができます。雰囲気を感じ、自分に合っているかを判断できる。これは企業選びをする上で大切なことです。

2つ目は熱意を企業側に伝えやすいこと。オンラインだと相手の反応が読みづらかったりしますが、対面では相手の反応を見ながら、話し方や身振りを変えることで熱意を直接伝えることができます。また、合同説明会など、対面のイベントに足

を運ぶことで志望度の高さを印象づけることもできます。

3つ目はインターンシップなどで他の就活生とのつながりができるという点です。刺激を受け、新たな発見や自分の現在の状況を確認することができると思います。

一方で対面にはデメリットもごございます。1つ目は就職活動費用の増加です。1日に複数の企業を訪問する際は、カフェで時間をつぶしたりすることもごございます。交通費や食費の出費も多くなるかと思えます。これについては保護者の支援が必要になるかもしれません。

2つ目は、移動時間の拘束です。オンラインが中心だったときには、30分刻みで複数の企業説明会に参加することも可能でした。ですが、対面では不可能になります。いろんな会社の話を聞くことも重要ですが、ある程度自分の就職活動の軸が決まったら、企業を絞って優先順位をつけることが大切だと考えます。

一方、企業側にもメリットがごございます。学生のメリットと同じように、コミュニケーションがスムーズになるということがあります。学生の表情を見ながら話す内容を変えたり、質問したりできます。

また、オンラインでは学生は志望度がそれほど高くない企業でもとりあえず受けることが可能でした。しかし物理的にそれができなくなるので、志望度の高い学生が多くなります。

デメリットもごございます。学生に社員と面談できる機会を提供し、自社の魅力を伝えていくことが必要になってきます。またオンライン

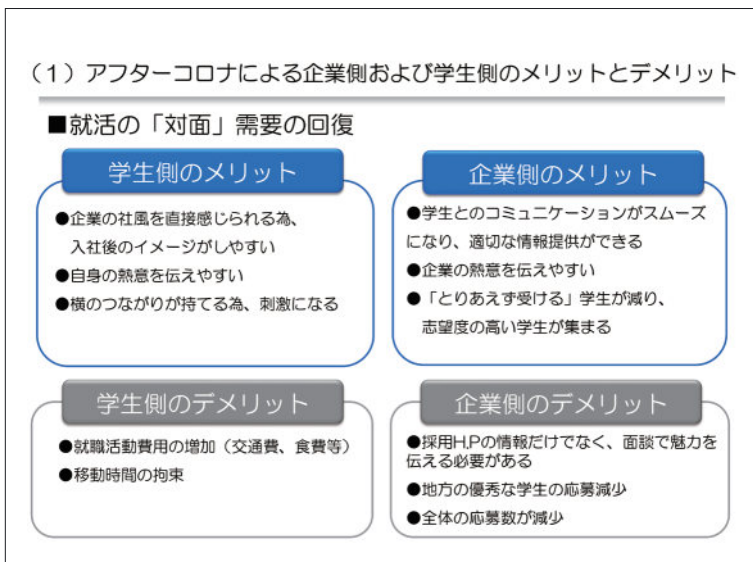


図1

では、地方の学生でも首都圏の企業を気軽に受けることができましたが、対面に戻ることによって、地方の優秀な学生の応募が減少すると思われる。

ここで伝えたいのは、対面はメリットになることの方が多いということです。自分という人間を知ってもらおうと思ったら、対面で話すのが一番だと思います。入社後のミスマッチを防ぐためにも、対面を選択できるのなら、積極的に対面で参加していただければと思います。

ハイブリット就活への対応

しかしながら、コロナ前のような100%対面の状態に戻す企業は少ないと思っております。対面とオンラインのハイブリッド就活に適應することが学生は必要になります。

ハイブリッドでは、選考段階によって、対面とオンラインを使い分けることができます。これによって、効率的な就活が可能になります。すべて対面だと、移動時間やコストもかかり、すべてオンラインだと会社の雰囲気がよく分かりません。また自分をアピールしたい場面では、対面で参加する。そう使い分けるとよいかもかもしれません。

オンラインに頼りすぎると、対面でアピールした学生と大きく差がついてしまいますので、ご注意ください。いざ対面での面接となったときに、緊張で声が出ないということもございます。対面慣れしている学生とでは、社会人としてのマナーにも差が出やすいです。

最近の学生さんはオンラインの環境に慣れ、対面での面接でも、こちらが聞くまで名前も言わずに待っているという方が非常に多いです。当たり前ですが、面接会場に入ったら、まずは挨拶が必要です。オンライン面接では、面接官の指示が先にあって、その後に学生さんが発言することが多いのですが、それは対面の常識とは異なるということを理解していただきたいと思っております。

活動制限緩和でガクチカが重要に

活動制限緩和により、ガクチカに差が出てくるのが予想されます。ガクチカとは「学生時代に力を入れて取り組んだこと」の略です。

今年の就活生までは「コロナによってなかなか活動ができなくて」という前置きも通用しましたが、

(1) アフターコロナによる企業側および学生側のメリットとデメリット

■まとめ

- オンライン、対面どちらの面接準備も万全にしておく。
- 特に「対面」を積極的に活用し、自身をアピールする場を設ける。
- その中でオンラインと対面を効率的に使い分ける。
- これからの時期、やれることは積極的に取り組んでみる！
- 家族・友人以外に自分の意思を率直に伝え、友好的に意見の対立を解消するスキルを身に付けておく、そのような場に身を置く。

図2

これからはそれが通用しなくなると思います。これといった活動ができていないという学生は、すぐにもアクションを起こさないと、他の学生と明確な差ができてしまいます。

一方で企業側にとっては、活動的な学生を見つけやすくなります。グループ活動の経験不足から、意見の衝突を回避する学生も多いのですが、企業側からすると衝突を恐れずに、自身の意見をしっかりと発信できる学生を採用したいと考えています。

グループディスカッションではその差がはっきり出ますので、今からでも意識的にグループ活動に参加し、経験を積むことが大事なかと考えます。

まとめますと、こちらのスライドの内容になります(図2)。就職活動は対面を積極的に活用しつつ、オンラインも活用して効率よく取り組むこと。グループ活動が不足していた方は今からでも積極的に取り組んでみるということが重要なかと考えています。

エントリーシート作成のテクニック

エントリーシートについてお話しさせていただきます。エントリーシートとは学生が企業に提出する応募書類で、企業が指定したフォームに志望動機やガクチカなどを入力することになります。ここから選考が始まり、エントリーシートが通過しないと面接にたどり着けません。ですので、非常に重要な書類ということになります。企業ごとに評価基準が違いますので、あくまでもキングジムの場合という前提で聞いていただければと思います。

まずテクニック的なことをお伝えしたいと思います。応募いただいたたくさんのエントリーシートをずらっと並べると、余白の多いエントリーシートは非常に目立ちます。常に人と比べられているという意識を持って作成していただきたいと思っております。

文字数はどのくらい書いたらいいのか、ということ聞かれることがあります。指定された文字数のマイナス5文字くらいを目指して作成するといいたいかなと思います。300文字以内と指定された場合は295文字ということになります。

それと履歴書に貼る写真は多少お金がかかっても就活用の写真館で撮影することをお勧めします。印象が全く違います。

また、エントリーシートの提出は締め切りが重なることも多いので、200文字版、300文字版、400文字版と下書きを用意しておく間違いないと考えています。

自分が何をしたかを書く

ではエントリーシートの内容についてお話しします。まず志望動機ですが、自分にはこのような経験、能力があるので、入社したらこういう部分で貢献できるというような自己PRを入れた文章を作成するとよいと思います。ただ、これを書くためには、企業の経営理念などをしっかりと研究する必要があります。

また、ガクチカは、「私」が「どのような行動」を起こしたのかを意識するとよいと思います。サークルやアルバイトで問題が発生した時のエピソードを記述する方が多いのですが、みんなで話し合っ解決したというだけで、自分がどうしたかというのが出てこない内容が多いです。これでは、その方がどんな能力を発揮したのかを確認できません。自分がどのように関わって、自分の行動によって、どのような影響があったのかを記述するとよいと思います。派手なエピソードでなくてもかまわないので、そのエピソードに対してどれだけ一生懸命取り組んだかという熱意を伝えてください。

企業の採用のポイントをざっくりと説明すると、入社後に企業に利益をもたらす人物か、志望度の高さを感じられるか、ストレスがかかったときにどのように対処するのか、この辺りをエントリーシートで確認しています。

就職活動の進め方

ここから就職活動や進路決定をどのように進めていくかをアドバイスしたいと思います。

最初は「自己分析」です。自分の興味、能力、

価値観を知ることになります。それが就職活動の軸となります。まずは自分がやりたいことを考えて、生き生きと働ける仕事を選ぶ。それとともに自分に何ができるのかを考えて、自分が必要とされる仕事を選ぶことも重要になります。

学生はやりたいことに主軸を置きがちですが、できること、向いていることを仕事にすることも大切だと思います。自分に何ができるのかを知るためには、今までどんなことに打ち込んできたのか、そしてどんな行動がどんな成果を生み出してきたのか、を考えていくことだと思います。自分にできることを生かせる会社であれば、周囲からの評価も上がり、社内でも必要とされる人物になると考えます。

2番目に「企業・業界研究」です。まずはできる限り幅広く企業を見ていくとよいと思います。大学が開催する学内企業説明会は、積極的に参加するとよいでしょう。自分の中で考えてもいなかった業界が見つかることもありますし、業界を絞るきっかけにもなると思います。

企業や業界の研究をするためには、さまざまな情報ソースを活用しましょう。まず何といても、大学のキャリア形成支援課です。毎年数多くの企業の人事担当者が訪問し、直接会社のアピールをしています。大企業はもちろんのこと、OB・OGが働いている優良企業の情報を得ることも可能です。ここは頼らないと損だと思います。

そして、「進路決定」です。内定をいただいた企業の中から、どこにするかを決められない学生が非常に多いです。企業のブランド力や規模など、表面的なところではなく、働くことを具体的にイメージして決断したらいいと思います。ジョブ型雇用で一つの職種に特化していくのか、ジョブローテーションによって、さまざまな部署を経験してスキルアップしていくのか。常に競争するような環境か、周囲と協力していく社風か。決めるための基準を自分の中で考えておくことが重要かと思います。大企業で働くことだけが良いとは限らないと思います。

その他の注意点をお話しします。

筆記試験対策は早めにするをお勧めします。専修大学の学生であれば、しっかりと対策すれば筆記試験は通過できます。

性格検査は嘘を見抜けるように設計されていますので、自分をよく見せようとせずに、正直に答えた

方がいいと思います。

それから、内定が取れても卒業できなければ、入社はできませんので、最後まで学業はおろそかにしないでください。

また、なかなか内定が取れないと精神的につらくなります。ご縁がない企業のほうが多いのが現実です。気持ちを切り替えて、次に進むことが大事かと思えます。

そして、長期戦になりますので、体調管理には十分注意してください。

子供にエールを送るポイント

最後に、親が子供にエールを送る際のポイントを、キングジムの若手社員に聞いた話と、私が親として経験したことを踏まえて、紹介します。

まず、親は自分が知らない企業に抵抗感を持たないということです。10年前のスタートアップ企業が、今では大企業になっているということも珍しくないで、親の価値観を押し付けず、お子さんの興味をまずは尊重していただきたいと思えます。

一方で、視野を広げる手伝いもしていただきたいと思えます。学生は印象で判断しがちです。社会人の先輩としてアドバイスしてあげてください。

それから、一緒に落ち込まないということ。不合格の度に落ち込んでいたら、メンタルがもちません。マッチする企業は必ずどこかにある。お子さんが落ち込んでいたら、そのように伝えてあげてください。

そして、服装などは、社会人の先輩として率直な意見を伝えてください。スーツの着こなし、ヘアメイク、学生同士では問題なく見えても、社会人から見ると非常に違和感を感じることがあります。例えば、目にかかった髪だったり、白シャツの下に色柄のインナーを着ていたり、社会人の先輩として気になる点は教えてあげてください。最終選考の面接官は、保護者の世代だということを意識していただければと思います。もちろん、企業によっては、ラフな服装をよしとする企業もあり、個性が見えないとダメということもありますので、ご注意ください。

さらに、可能であれば資金援助をお願いします。オンライン面接のための通信環境の整備、これは非常に大事です。ブチブチとネット回線が切れる

ようでは、面接が進みませんので、こちらの環境は整えてあげてください。それから、スーツ代、交通費、メイク代、カフェ代、こういったお金がかかります。就活中は今までのようにアルバイトもできませんので、できる限り支援をしていただければと思います。

それから、注意していただきたいのは、自宅でのオンライン面接中に家電の音が入り込まないようにしてあげてほしいと思えます。面接中に炊飯器とか洗濯機の音が鳴ったりして、焦ってしまう学生もいます。

そして、何より一番大切なのが、愛をもって見守ることです。入社してほしい会社を押し付けてしまうと、就職後に辛いことがあったとき、「やっぱり自分が行きたかった会社に入ればよかった」と思って仕事へのモチベーションを保てなくなる可能性もごさいます。

ご家庭の事情もあると思えますが、転勤や海外勤務のある会社に行きたいと言われたら、行っておいでと送り出してあげてほしいです。たまに面接で、「親が転勤はダメと言っている」と話す学生がいるんですけども、そう言われてしまうと、企業側としては内定を出せなくなってしまいます。

また、せっかく勝ち取った内定先を大好きな親に否定されると、子供は非常に悲しいようです。私も失敗したことがあります、「その会社、聞いたことがないな」みたいなことを言ってしまうと非常に悲しみます。きっと親に褒めてほしいと思つて内定先を報告してくるので、まずは「おめでとう」と本人の努力を称えてあげてください。

今の大学生は親が思っている以上に人前で非常にしっかりしています。信じて、気かけながら見守ってあげてください。やはり就活は長期戦でメンタル的にも非常にきつく、特に初めて内定をもらうまでの間、ずっと緊張状態が続き、私の子供も口数がかなり少なかったように感じました。そんな中で、できるだけ子供の意見を尊重して、今まで以上に私自身がポジティブな会話を心がけてみたところ、いろいろ話してくれるようになったと思つています。

ご清聴ありがとうございました。

※このほか、講演ではインターンシップのことや専大生の特長なども語られました。興味のある方は育友会 HP のアーカイブ配信をご視聴ください。

就職活動体験談

就活を終えた4年生による体験談。自己分析や業界研究はどう進めたか、インターンシップは早期選考につながったのか、エントリーシートや面接では何を聞かれたなどが語られます。

コーディネーター



キャリア形成支援課
中條賢二

パネリスト



経済学部現代経済学科4年
水戸友飛



法学部政治学科4年
杉山裕紀



人間科学部社会学科4年
山本和志



国際コミュニケーション学部
異文化コミュニケーション学科4年
福沢芽衣

北海道出身。北海道の金融系会社に総合職で内定。労働経済学のゼミに所属。フットサルサークルで活動。飲食店でアルバイト。

埼玉県出身。メーカーに購買職で内定。欧米の政治家を研究するゼミに所属。学生ボランティア団体で活動。

東京都出身。アミューズメント会社に店舗マネジメント職で内定。鳳祭実行委員会に半年間所属。和菓子屋でアルバイト。

神奈川県出身。専門商社に事務職で内定。地域のバドミントンサークルに所属。アルバイトはウェディングキャストと書店員。

※文中の「インターンシップ」は、ワンデイ仕事体験などの短期間の取組も含まれます。

就職活動、はじめの一步

中條：まず就職活動を意識した時期と、どのような準備から始めたかを教えてもらってもよろしいですか。

水戸：3年次の7月から準備を始めました。企業研究から始めて、北海道の企業のインターンシップを探しました。

杉山：私は3年生の6月くらいから自己分析と気になる業界の研究、筆記試験の対策を始めました。

山本：私は2年生の3月頃でした。受験浪人したので、高校の同級生は一つ上の学年になります。彼らが就職活動を本格的に始める時期に、私も意識するようになりました。彼らと一緒に就活イベントに顔を出して、「今からやれることは何ですか？」などと企業の人事に質問をしていました。

福沢：私は3年次の前期に学部の制度で留学していたので、7月の帰国後にまずは自己分析から始めました。

自己分析と自己PR

中條：自己分析はどんなことに取り組んだのか、杉山さん、お伺いできますか。

杉山：小さい頃から大学時代までの記憶で印象に残っていることを書き出したり、あるいは他己分析

ツールという、自分の性格について友達に回答してもらってウェブのツールを活用しながら進めました。小さい頃に関しては、親に自分がどんな子供だったかを聞きました。

中條：親からはどんな回答を得られましたか。

杉山：アフリカの子供がご飯が食べられずにいるユニセフのCMを見て、「助けてあげたい」と言うような、海外の課題に目を向けられる子だったと聞きました。

中條：水戸さんはどう自己分析を進めましたか。

水戸：何をすればいいのか全く分からなかったのので、とりあえずインターンシップを通して、他の就活生と比べて、自分のよいところや悪いところを探したり、自分の興味、関心を探りました。

中條：杉山さんのように自分と向き合って自己を見つける方もいれば、水戸さんのようにインターンシップを経験しながら興味や関心を探り、自己を見つけていく方もいます。

コロナ禍での自己PRのネタ

中條：自己PRに関して、山本さんは企業に対してどんな話をしていましたか。

山本：僕は和菓子屋さんでアルバイトをしていたときに、新規のアルバイトの方に向けたマニュアルを作成したことを話しました。最初は自己PRの作



り方がわからなかったので、キャリア形成支援課で何度も相談しながら仕上げました。

中條：どれくらいの期間で完成しましたか？

山本：1カ月くらいで形になりました。

中條：キャリア形成支援課には、コロナ禍のためPRするような経験がなくて困っているという相談も多いです。ただ、そういった学生にいろいろと質問をすると、実はアルバイトで頑張ったことがあったり、学生生活で一生懸命やったことがあったり、そういったところを見つけることができます。

業界研究と企業選び

中條：業界研究について、どのように自分の視野を広げていったのかをお伺いしたいと思います。

福沢：私は自分の情報を掲載して、企業からオファーをいただくオファーサイトを利用しました。例えば「Offer Box(オファーボックス)」は、これまでの経験や興味などの自分の情報をサイトに載せると、それを見て興味を持った企業から連絡が来ます。元々メーカーに興味があったのですが、商社から声がかかったことで、そこでも私の特性が活かせることに気がつきました。もう一つ、私は社会貢献に関わる仕事に就きたかったので「エシカル就活」というサイトも利用しました。そこは例えば食品ロス、人種差別といった社会問題にも力を入れている企業と出会えるサイトです。

中條：多くの学生はマイナビやリクナビといったサイトで、企業を見つけてエントリーをしますが、今話にあったオファー型の就職サイトは、自分の情報を公開して企業からの連絡を待つというものです。福沢さんはどんなことをそこで公開したのですか？

福沢：私は国際コミュニケーション学部で、カナダに語学留学をしていたので、留学での取り組みやアルバイトでの行動を書きました。

中條：続いて杉山さん、どう視野を広げましたか？

杉山：私は元々、法人向けの取引を行うBtoBのメーカーに興味があって、東京ビッグサイトでの合同説明会に参加したり、『業界地図』などの書籍を活用して、業界への理解を深め、視野を広げていきました。

中條：山本さんが、企業を選ぶ際に大切にされたことはありますか？

山本：本当にやりたいと思えるような仕事をしたいと思っていました。人間科学部社会学科で2年次に行った社会調査実習の経験から、マーケティングに何となく惹かれていましたが、夏にインターンシップを3社経験し、本当は興味がないことが分かりました。冬のインターンシップでは、自分の趣味と直結した仕事に参加し、そこでやりたいと思える仕事を見つけました。

インターンシップは何社参加？

中條：Uターン就職した水戸さんは、地元のインターンシップに参加しましたか？

水戸：参加しました。ほとんどが1日限りのものだったので、10社ほどインターンシップに行きました。その中で自分の得意不得意だったり、好き嫌いだったり、やりたいことを探していきました。

中條：インターンシップは夏と秋冬で期間が2つに分かれています。どちらに参加しましたか？

水戸：夏に参加しました。ほとんどがオンラインで、対面も数社ありました。

中條：杉山さんはどうでした？

杉山：夏に3、4社、メーカーを中心に参加しました。冬のインターンシップも4社くらい参加して、その時は、どの業界・職種に興味があるのかを調べるために幅広く参加し、そこで自分が電子部品に興味があるのが見えてきました。

選考はどのように進んだか

中條：皆さんは何社にエントリーし、面接は何社受けて、最初の内定はいつ頃でしたか。

水戸：エントリーしたのは5社程度で、面接を受けたのは早い段階で第1志望から内定をもらえたので、2社です。最初の内定は5月末です。

杉山：私は30社くらいエントリーをして、面接を受けたのが10社で、最初に内定をいただいたのが5月頃になります。

山本：僕は7社エントリーして、面接を受けたのが早期選考の1社のみになります。最初の内定は3月下旬です。性格的に多くの企業を並行して受けることができず、1社1社に時間をかけてエントリーしました。

福沢：私は早期選考を含めて10社エントリーしました。最初の内定は2月下旬です。就職先は早期選考で4月末に内定をいただきました。

中條：早期選考がどう進んだか、山本さんと福沢さんに聞いてもいいですか。

山本：僕は冬のインターンシップ後に、早期選考の案内をいただくことが多かったです。

福沢：私は夏のインターンシップにオンラインで参加して、さらに対面のインターンシップに参加した結果、参加者に早期選考のアナウンスがあったので、エントリーしました。

中條：実情を聞いていると、政府のルールより前にインターンシップなどを通して学生に声がかかるという実態が見えてきます。

筆記試験への対策

中條：筆記試験の対策はいつから始めたのか、工夫したことなどを伺いたと思います。

杉山：私は3年次の6月頃から筆記試験の対策を始めました。マイナビや、大学で無料で受けられる模擬試験を利用し、苦手な分野を明らかにして、そこを集中的に勉強しました。それが成功につながったと思っています。

山本：私はキャリア形成支援課のSPI対策講座を春から夏まで受講しました。でも、実際に企業でSPI試験があったのは冬なので、忘れてしまうこともありました。SPIは継続的に勉強することをお勧めします。

面接は何を聞かれたか

中條：面接試験について、印象に残っていることや工夫、苦勞があれば教えてください。

山本：「自分が好きなコンテンツを、一緒に面接をしている方がやりたいと思えるようなプレゼンをしてください」という質問がありました。準備していなかったら答えられなかったと思います。ONE CAREER（ワンキャリア）で過去の質問を確認し、キャリア形成支援課の方にも相談しながら準備していたので、うまく回答できました。

中條：ONE CAREERとは就活生向けのサイトですね。いろんな大学の方々の体験談が紹介されているので、そういったものを使ったということですね。水戸さんは、いかがでしょう？

水戸：学生時代に力を入れたことなど、どの会社でも聞かれることのほか、会社ごとに特徴的な質問もあります。例えば、ある銀行で「あなたを物に例えると何ですか？」という質問があつて、私は「おきあがりこぼし」と答えただけですけども、実際におきあがりこぼしを会場に持って行って、俺はこういう人間なんだというふうな説明をしました。

中條：大学での学びはどう聞われましたか。

福沢：私が内定した専門商社は、1次面接から3次面接までありました。私は国際コミュニケーション学部の1期生なのですが、なぜその学部なのか、なぜ専修大学だったのかと質問されたこともありました。2次、3次面接は社長さんと対面でしたが、英語でプレゼンテーションをしていることをお伝えしたところ、どのようなところに注意しているのかと語学力だけではなく、学業に取り組む姿勢を問われたと思います。

杉山：メーカーは技術職として採用される理系の方が多いためなのか、学生時代に勉強した内容を結構聞かれました。今の内定先は最終面接で、ゼミで研究している内容を5分くらい発表する時間があつて、深掘りされました。

コロナの影響

中條：就活におけるコロナの影響を聞きたいと思っています。面接はオンラインが多かったですか？

水戸：最終面接は対面が多かったんですけども、1次面接や2次面接はオンラインが多かったので、

オンライン面接でも対面と変わらない熱量で伝えられるように練習した方がいいと思います。

山本：説明会はオンラインが多かったです。会社の雰囲気を知るにはオンラインでは足りないと思うので、店舗がある場合などは、実際に足を運んでみるのが大切なのかなと思っています。

Uターン就職どのように

中條：水戸さんは、北海道にUターン就職をされました。経済的な負担はどうでした？

水戸：1次面接と2次面接はオンラインが多かったので経済的負担はありませんでしたが、最終面接は対面で行う企業が多いので、飛行機代が往復25,000円、そのほかホテル代や飲食代などがかかりました。

中條：東京にいと北海道の企業を知ることは難しいと思いますが、工夫したことはありますか？

水戸：北海道内の企業だけを扱っているサイト「ジョブキタ」やUIターン就職センターのサイトを中心に、インターンシップや求人、会社情報を探しました。

中條：北海道以外にも、自治体ごとにUターンのための支援のサイトを設けていたり、東京交通会館などにUターン専門の施設があったりします。そういったところを利用すると、うまく進められると思います。

女性ならではの視点

中條：福沢さんと杉山さんに、女性ならではの視点で見ていたことがあれば教えてほしいです。

福沢：マイナビなどで、育休が取れるかなどを見ました。また、面接でどんなキャリアを描いているかを聞かれたことがあって、その時は、結婚しても働きたい、ということを行いました。

杉山：私も同じく、育休、産休、時短勤務などを見ました。選考の前段階で女性社員による座談会を開催する企業もあって、そこで子育てと仕事を両立して活躍されている方の話を聞いて、その企業を魅力的に感じました。

もっとこうすれば…

中條：就活を終えて、何か後悔していることがあれば教えてほしいと思います。

杉山：夏のインターンシップはもっと参加しておくべきだったと思っています。私が夏に参加したのが、ワンデイ仕事体験だったんですけど、長期のインターンシップに参加して、就業体験を積むことで自己分析する近道もあったと思います。

福沢：夏に選考直結型のインターンシップに行けばよかったなと心の底から思っています。ワンデイだとオンラインが多かったので、自分を印象に残すのが難しい。選考直結型なら対面の可能性も大きいし、社員と喋る機会があると思います。そこで印象に残れば声をかけていただけるかもしれないかなと思います。

中條：逆に、就活でこういう工夫がよかった、うまくいったということがあれば、教えてほしいのですが、いかがでしょう。

山本：僕は1社1社にすごく時間をかけて就活を行いました。内定をいただいた企業はBtoC企業で、店舗が東京にあり、そこに足を運びました。企業に対し、こうした方がいいという提案できるとすごく光ると思うので、それを意識しながら就活をしました。その他にも、好きなことに対する熱量を伝えるために、私服で参加できる面接では、好きなアーティストのTシャツを着てアピールするなど、できることは全部出し切りました。

親に対する思い

中條：最後に、親にしてもらって嬉しかったことなどがあれば何ってもよろしいですか。

水戸：1社落ちた後に、両親が北海道からこちらに来て、ご飯に連れて行ってくれたことが嬉しかったです。就活の話は一切触れずに来てくれて、親からの信頼も感じられました。

杉山：3、4月くらいが精神的につらく、連日無茶もしていた時期だったんですけども、そこで気にかけてくれたところが嬉しかったのと、選考に落ちて落ち込んでいた時は、「あなたに合う企業があるから大丈夫だよ」と、私を信頼して励ましてくれたことがすごく嬉しかったです。

山本：僕は、親が干渉しないでいてくれたことが、ありがたかったです。あと、自宅からオンラインで説明会やインターンシップに参加した際には、周りがうるさくならないように気にかけてくれたり、スーツを買ってくれたり、ということが本当にあり

がたかったです。

福沢：私は就活の状況を聞かれると、プレッシャーを感じてしまうので、母は「スタバに一緒に行かない？」などと誘って気分転換の場を提供してくれました。父はビジネスについてこちらが質問を

すれば答えてくれるというように、何かあれば助け舟を出すよという姿勢で、私を支えてくれました。そうしたことが嬉しかったです。

※この後、会場の方からの質疑応答が続きます。興味のある方は育友会 HP のアーカイブ配信をご視聴ください。

4 講演

合格するために何をすべきか ～専修大学公務員試験講座はこうなっている～

公務員試験とはどのようなものか。その基礎的な知識から、専修大学エクステンションセンターの公務員試験講座の内容まで、担当講師が紹介します。



専修大学公務員試験講座担当講師

朱 武英

国家公務員の選択肢と応募状況

公務員として地元での就職を考える学生も多いかと思います。そういう学生の中には「国家公務員は自分には関係ない」と言う方もいますが、これは勘違いで、全国各地に官庁の出先機関があります。国家公務員でも、希望すれば地元に戻ることができます。

公務員として地元で就職をする場合に、県庁や市役所に限定することなく、国家公務員一般職（図1）、あるいは国税専門官、裁判所の職員といった幅広い選択肢があるということをご理解いただきたいと思います。

ニュースでご存じかと思いますが、国家総合職、いわゆるキャリア官僚の志望者数はだんだん減っており、人事院がかなりテコ入れしようとしています。民間企業の採用が順調ということもあり、申

込者数が減っています。この傾向は、今後3、4年続くと思われます。

ちなみに国家総合職ですが、つい先日発表され、専修大学の今年の最終合格者数は過去最多となる27名でした。全国の私立大学の中では8位にランキングされています。

国税専門官という仕事

図2が国税専門官採用試験（法文系）実施状況です。ちなみに国税専門官というのは、税務署の職員です。『大学ランキング2024』（朝日新聞出版）によると、この数年間、専修大学からの採用者数は1位か2位の実績です。

国家一般職の場合は、一般的に霞が関の官庁説明会しかありませんが、国税専門官に関しては、夏休み期間中にインターンシップを実施しています。このような場に参加すると、自分がなぜ国税

	申込者数	1次合格者数	最終合格者数	倍率
R5	8,476(3,669)	2,845(1,092)	2,098(871)	4.0
R4	9,204(3,983)	2,565(1,008)	1,844(779)	5.0
R3	8,753(3,665)	2,531(938)	1,825(733)	4.8
R2	9,382(3,838)	2,310(855)	1,572(595)	6.0
R1	10,146(3,968)	2,565(941)	1,792(718)	5.7

（カッコ内は女性受験者の数で内数）

図1 国家一般職採用試験実施状況（関東甲信越地区行政職のみ）

※図1～3のR5については最終結果を掲載しています。

	申込者数	1次合格者数	最終合格者数	倍率
R5	13,618(5,735)	5,511(2,171)	3,127(1,385)	4.4
R4	14,867(6,168)	7,283(2,966)	4,106(1,869)	3.6
R3	13,163(5,370)	7,415(2,987)	4,193(1,837)	3.1
R2	14,131(5,532)	7,189(2,777)	3,903(1,539)	3.6
R1	14,238(5,507)	6,154(2,307)	3,514(1,489)	4.1

（カッコ内は女性受験者の数で内数）

図2 国税専門官採用試験（法文系）実施状況

専門官を志望するのかを2次の面接試験で語る材料にもなります。

インターンシップの選考に漏れてしまった場合でも、税務署で確定申告の時期に学生のアルバイトを募集しています。ここで職員の人たちから「国税の仕事もお勧めするよ」と声をかけられることもあるようです。

学生にも伝えていますが、国税専門官は初任給が公務員の中で一番高いようです。

東京都特別区I類採用試験

地方公務員の東京都特別区I類をご紹介します。東京都特別区の場合は、東京23区の区役所と清掃組合、人事・厚生組合、競馬組合の26団体の一括採用試験です。最終合格した後に各団体で個別に面接試験を受けることになっています。

図3のように採用数が今年かなり増えています。地方公務員は、防災、子育て支援、介護、地域の活性化など取り組まなければいけない仕事が増えています。ところが、団塊の世代がリタイアされて、職員の数が足りなくなっています。そのため採用数が増えています。おそらく今後もこの傾向は続くでしょう。

学生にも話しておりますが、生活と仕事を両立したい人にとって、東京都特別区はベストな選択の1つです。

東京都特別区の今年の1次合格者数を見ていただきますと、7,668人受験して合格者数が5,955人。学力に関しては最低限のラインをクリアしてさえいればよく、ハードルはかなり下がっています。一方で最近の公務員試験の特徴といえますが、その学生がどういう考え方を、どう行動するかを面接で見極めようとしています。人物重視ということです。民間企業同様に、公務員にもこういう流

	採用数	応募者数→実受験者数	1次合格者数	2次受験者数	最終合格者数	倍率
R5	1,181	8,541 → 7,668	5,955	4,595	3,013	2.5
R4	983	9,374 → 8,417	4,246	3,312	2,308	3.6
R3	874	11,449 → 9,019	4,098	3,006	1,881	4.8
R2	906	14,339 → 8,121	4,791	2,197	1,741	4.7
R1	966	13,296 → 11,501	4,244	3,219	2,032	5.7

(カッコ内は女性受験者の数で内数)

図3 東京都特別区I類採用試験(一般方式)実施状況

<警察官>

		受験者数	1次合格者数	最終合格者数	倍率
警視庁	男性	4,152	非公表	836	5.0
	女性	1,383	非公表	228	6.1
神奈川県警	男性	945	730	250	3.8
	女性	314	207	56	5.6
千葉県警	男性	661	603	287	2.3
	女性	181	140	55	3.3
埼玉県警	男性	1,146	932	255	4.5
	女性	297	233	40	7.4

* 県警については第1回試験のみ掲載

図4 警察官採用試験・選考実施状況(R4実績)

<消防官>

	受験者数	1次合格者数	最終合格者数	倍率
東京消防庁(第1回目)	3,356	1,067	364	9.2
さいたま市	189	49	19	9.9
千葉市	156	71	23	6.8
横浜市	475	183	84	5.7
川崎市	210	75	20	10.5
相模原市	138	40	17	8.1

* 資料の各種データについてはHPから抜粋

図5 消防官採用試験・選考実施状況(R4実績)

れが出てきています。

警察官・消防官の採用状況

図4は警視庁、神奈川県警、千葉県警、埼玉県警の昨年度の実施状況です。警視庁、神奈川県警は人気が高いです。

ただ東京オリンピックが終わってしまった関係もあり、警察官の採用数は5年くらい前に比べるとほぼ半減したと言えます。東京オリンピック前は1,200~1,300人は採用してました。学生は警察官より消防官を希望する傾向があるようです。

消防官を見てみましょう。消防官は根強く人気があります。特に東京消防庁と横浜市の消防局の2つはハイパーレスキューという特殊装備を持った部隊があるので人気があるようです。

消防庁の場合も1次試験で3倍で、最終合格でも3倍ぐらいの倍率ですので、合格するのにそれほど苦労はないかな、という見方ができます。

採用数が圧倒的に多いのは東京と横浜になります。日程が違うので、どちらも受けることができます。

専修大学の公務員試験講座

図6の①から④がいわゆる1次試験で実施されるものです。先ほど申し上げた通り、最近1次試験のハードルが下がっていますので、筆記試験

- ①教養択一試験(マークシート形式)
一般知能(現代文・英文・数的処理)、一般知識(日本史・世界史・政治・社会・理科・時事ほか)
- ②専門択一試験(マークシート形式)
法律系(憲法・民法ほか)、行政系(政治学・行政学ほか)、経済系(経済原論・財政学ほか)、その他(国際関係・心理学ほか)
- ③教養論文試験(記述式)
社会的な課題に関するテーマ(少子化・高齢化・まちづくり・産業振興・科学技術 ほか)から出題
- ④専門記述試験(記述式)
憲法・民法・行政法・政治学・行政学・経済学・公共政策・国際関係・財政学・経営学 ほかから出題。
- ⑤人物試験
個別面接・集団面接・集団討論・グループワーク・プレゼンテーションほか

図6 公務員試験の構成

に自信がない方であっても心配はいりません。重要なのは⑤の人物試験です。

専修大学の公務員試験講座では1年目は入門講座で数的処理と人物試験対策を行います。数的処理というのは中学校時代の数学とご理解ください。そして1年目から人物試験対策をします。どういふことを面接で聞かれるのか、どういふ準備をしておけばいいのかを学生に伝えています。

そして2年目は数的処理に加えて、専門科目の憲法、民法、行政法といった科目、さらに人物試験対策がセットになります。そして3年目で筆記試験から人物試験対策、論文の演習まで全てカバーします。基本的には、学外に出て受験指導専門学校に通うことなく、概ねすべてのカリキュラムを学内で組んでいます。

この講座は2年目に受講していないと、3年目の講座を受講できません。皆様のご子女の中に、受講していない方がいらっしゃるかもしれませんが、その場合は3年次の秋から受講可能な警察官・消防官対策講座と、市役所試験(教養型)対策講座があります。

市役所の1次試験は専門科目の憲法や法律、経済がなくて、SPIやSCOAといった基礎能力を測る教養試験等になっています。市役所も民間との競争で試験制度を変えている自治体が多くなってきています。そちらを受験するのであれば、3年次の秋から実施される市役所試験(教養型)対策講座を受講できます。

公務員試験講座のメリット

専修大学の公務員試験講座は専大生の学力に対応した講義であるため、大学の授業がどの程度進んでいるのかを踏まえた上で、この話はしても

大丈夫、こちらは補足しなければいけない、と確認しながら進めています。外部の受験指導専門学校では、ここまでの配慮はないようです。

また、筆記試験から面接試験まで、担任制度を採ってサポートしております。こういったシステムを採っているところは専修大学のみです。学内で実施するため、学生の時間をきちんと考えた上でカリキュラムが組み立てられます。

受講料は年間87,000円～92,000円です。詳細はQRコードから参照してください。



ご父母・保護者へのお願い

図7は公務員試験講座受講生の主な職種別合格延べ数であり、あくまでも最終合格の数であつて、進路ではありません。どこの学部であつても、1年生の時点からしっかりと準備をしておけば、結果が必ずついてきます。

私から最後に、ご父母・保護者の皆様をお願いしたいことです。インターンシップでも税務署のアルバイトでも構いません。ほかにも、例えば大学のボランティア団体の活動などに積極的に参加するように背中を押していただきたいです。

それと補足ですが、講義は全て録音して、Google Classroomで配信しています。学生がアルバイト等で講義に出られないときもフォローしています。講師だけでなくエクステンションセンターの職員も一体となって学生を支援しておりますので、今後ともよろしくお願ひします。

※講演内容は一部割愛・編集した部分もあります。興味のある方は育友会HPのアーカイブ配信をご視聴ください。

〔国家公務員〕	
・国家総合職	11名(6名)
※人事院HPの出身大学別に初ランクイン(全国私大11校)	
・国家一般職	40名(40名)
・国家専門職(国税専門官)	75名(78名)
・裁判所職員 一般職	7名(3名)
〔地方公務員〕	
・道府県庁(上級)	23名(21名)
・東京都特別区	64名(62名)
・政令指定都市	22名(34名)
・市役所(上級)	72名(84名)
・町村役場	9名(9名)
・警視庁警察官	13名(19名)
・道府県警察官	27名(20名)
・東京消防庁消防官	11名(4名)
・市町村消防官	6名(4名)

図7 公務員試験講座受講生の主な職種別合格者数
令和4年度実績、()は令和3年度実績